



# ほうなん

令和6年度 10月号

令和6年9月30日  
杉並区立方南小学校  
03(3322)7661

## 「全国学力・学習状況調査」の結果を授業改善に生かす

副校長 清原 正之

今日、9月30日は、通知表「たけのこ」を子供たち一人一人に手渡す日です。各担任より、今年度前半の頑張りや、これから頑張ってもらいたいこと等を話しながらお子さんにお渡しします。ご家庭でも、お子さんと「たけのこ」を一緒に見ながら、これまでの成長や次の目標について話題にいただけたらと思います。

1学期に、小学校6年生を対象にした「全国学力・学習状況調査」を行いました。この調査のねらいは、2つあります。

(1) 全国的な児童・生徒の学力や学習状況を把握し、教育施策の改善を図る。

(2) 学校における児童・生徒への教育指導の充実や、学習状況等の改善に役立てる。

子供たちにとっては、自分の弱点を知るきっかけとなります。一方で、私たち教員にとっては、これまでの学習指導を振り返り、今後の授業改善に生かすきっかけとなります。

### ☆令和6年度 全国学力・学習状況調査 結果

国語	平均正答数	平均正答率	算数	平均正答数	平均正答率
方南小学校	9.9/14	71.0	方南小学校	11.0/16	69.0
東京都 (公立小学校)	9.8/14	70.0	東京都 (公立小学校)	10.9/16	68.0
全国 (公立小学校)	9.5/14	67.7	全国 (公立小学校)	10.1/16	63.4

#### 【全体を通して】

本校の平均正答率が、全国および東京都の数値を上回りました。また、理由を文で書かせる記述式問題が、2教科合わせて6題ありました。本校は、記述式問題の無回答率が6題中5題において3%をきっていました。「分かることや考えたことを少しでも書いてみよう」という粘り強さの表れだと考えられます。

#### 【国語】

本校では、「オンラインで交流する場面における適切な話し方についても問題」「メモの取り方を工夫し情報と情報とを関係付ける力を見る問題」「物語を読んで心に残ったところとその理由を書く問題」等はよくできていました。一方で、「メモを基にして、与えられた条件を満たすような文章を書かせる問題」の正答率が、全国や東京都の数値と比べて低かったです。誤答分析をすると、40%の子が、条件の一部しか満たしていない書き方をしていました。

#### 【算数】

基本的な計算問題、問題場面の数量の関係を捉えて式に表す問題、立体図形の展開図や見取り図に関する問題等は、よくできていました。一方で、本校児童だけでなく、全国的に正答率が低かった問題は、「家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる二人の速さについて、どちらが速いか判断してそのわけを書く問題」でした。誤答分析をすると、24%の子が説明不足と判定されていました。

本校の教員は、「進んで学習に取り組み、確かな学力を身に付ける児童の育成」を研究主題に掲げ、日々の授業改善に取り組んでいます。児童自らが“問い”をもてるようにすることで主体的に学習に取り組むとともに、教員が知識を教え込むのではなく、児童一人一人が考えたことや気付いたことを結び付けて、問題を解決したり、新たな知識を獲得したりする、そんな授業を目指しています。

授業改善に取り組む教員と、その授業の中で一生懸命に学習に向かう子供たちの努力の成果が、調査結果に表れてきています。今後は、話し合いや発言のさせ方を工夫することで、子供たちの「必要な情報を落とさずに説明する力」を高めていきます。